

避難施設関係者 事前研修

2024年6月12日（水） 3階会議室

午前の部 9時30分から11時30分

対象：新たに自主防災組織の代表になった方

午後の部 14時00分から16時00分

対象：自主防災組織の代表が2年目以降の方



次第

- はじめに 町田市町内会自治会連合会長
- 地域代表者による講話
AM 成瀬中央町内会「阪神淡路大震災を経験して」
PM 高瀬住宅自治会「防災カレッジの活用～地域の底力制度～」
- 避難施設について
- ～休憩～
- お知らせ（市民協働推進課）
- 個別避難計画について（福祉総務課）
- 補助金について（防災課）
- 事務連絡（防災課）



避難施設関係者事前研修



事前研修の実施について

2022年度に、各避難施設において連絡会及び開設訓練を実施し、**開設のファーストステップ**を確認しました。
2023-25年度(3年計画)、全避難施設において**地域主導で運営できること**を目指し、避難施設に関する情報共有や運営の方向性を事前に確認するため、事前研修を実施します。

2022

指定職員指定



課内研修



新規指定職員講習会



避難施設関係者連絡会



資器材の事前確認



避難施設開設訓練



各避難施設を点数化

2023
-2025

指定職員指定



課内研修



新規指定職員講習会



避難施設事前研修



避難施設関係者連絡会



資器材の事前確認



避難施設開設訓練



各避難施設を点数化

町田市の災害対応

災害対策基本法第5条（市町村の責務）

住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、防災に関する計画を作成し、これを実施する責務を有する。

町田市の防災に関する計画とは…



町田市の被害想定や予防に関する計画の他、災害ごとの市の体制について書かれています。



風水害



ある程度予測できる
→数日前から準備！

地震災害



予測不可能
→震度別で緊急参集！

災害の種類によって、体制が**大きく異なります！**

風水害における対応

● 気象情報の確認

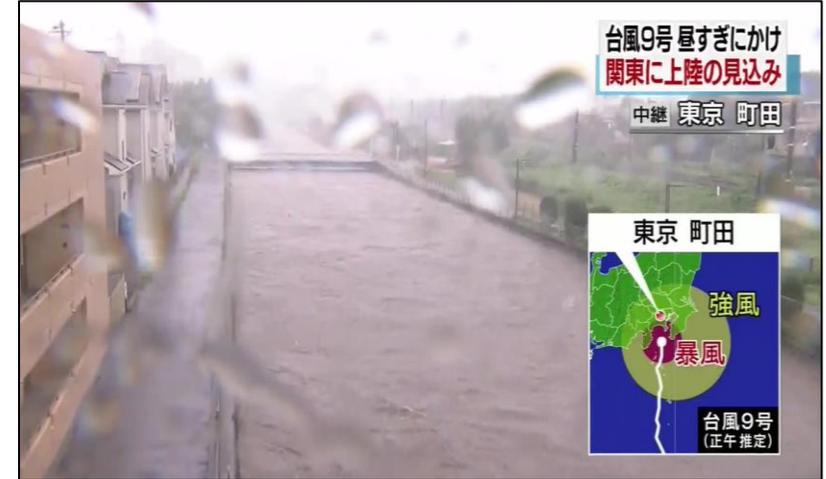


● 降雨量等の予想を踏まえて対応の準備

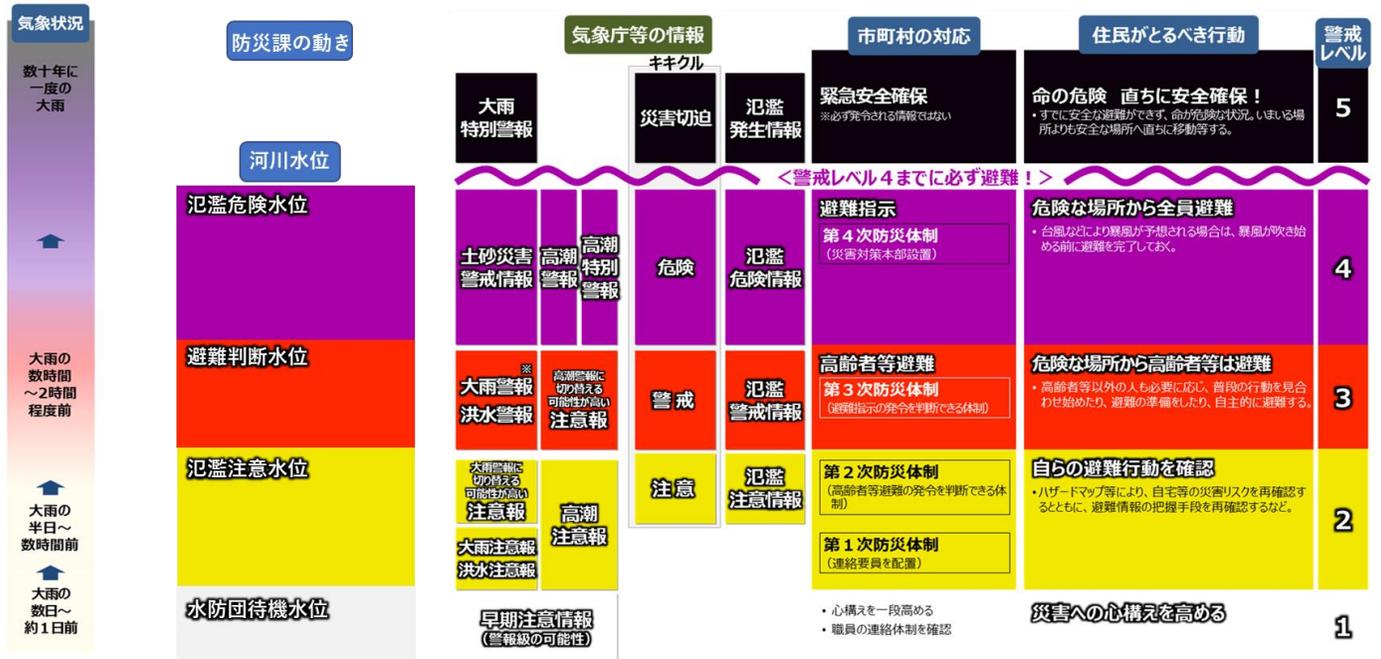
● ※大きな被害が予想される場合は、早い段階から避難施設を開設します

● 気象警報、河川水位等に依じた避難情報の発信

● WEBポータルで最新情報のご確認を



NHK生活・防災



過去数年間の主な対応

2016年 8月 台風第9号【大雨・洪水警報、土砂災害警戒情報】

避難勧告発令：29避難施設を開設、最大で273名が避難

2017年 10月 台風第21号【大雨・洪水警報、土砂災害警戒情報】

避難勧告発令：26避難施設を開設、最大で135名が避難

2018年 7月 台風第12号【大雨警報】

避難準備・高齢者等避難開始発令：26避難施設を開設、51世帯95名が避難

2019年 9月 令和元年台風第15号【大雨・洪水・暴風警報】

避難準備・高齢者等避難開始発令：25避難施設を開設、87世帯144名が避難

〃 10月 令和元年台風第19号【大雨・洪水・暴風警報、土砂災害警戒情報】

避難勧告発令：34避難施設を開設、1,429世帯 3,085名が避難

2021年 8月 大雨対応【大雨警報（浸水・土砂災害）・洪水警報・土砂災害警戒情報】

避難指示発令：22避難施設を開設、最大で65名が避難

2023年 6月 台風2号対応【大雨警報（浸水・土砂災害）・洪水警報・土砂災害警戒情報】

国道16号八王子バイパス土砂災害

避難情報の名称はいずれも当時のもの



国土交通省関東地方整備局HPより

地震災害における対応



～無線放送～

市内設置の地震計で震度4以上の揺れを観測すると、自動で無線放送が流れます

震度
5弱

所定の職員



防災安全部は全員！

震度
5強

全職員の50%



この時点で半分か参集！

震度6
弱以上

全職員



全員参集！！

指定職員は各指定先へ



72時間 運営に従事

指定職員とは



震度6弱以上の地震が発生した際に、指定された**避難施設等**に参集し、対応にあたる職員のこと。

※避難施設から10km圏内に住む職員、各施設4人ずつ指定。

➡ 避難施設の運営は、施設周辺の地域の代表者、施設の職員、指定職員の三者で行い、指定職員は主に、災害対策本部との連絡要員となります。

※ 平常時には、避難施設を運営する会議や、各種訓練に参加します。



避難施設に関する取り組み



6月

避難施設関係者事前研修

7~9月

避難施設関係者連絡会

平時に、災害時の避難施設開設・運営等を、円滑に行うために必要となる事項を事前協議する場、及び、訓練の主体組織。

地域団体・市指定職員・施設管理者で構成され、防災課が会議等をサポートする。

10~12月

避難施設開設訓練

避難施設関係者連絡会で検討した地域特性にみあったマニュアルをもとに、実際に行動し、点検をする場。その後、課題点を見直していき、積み重ねていくことが大切です。

その他

防災教育(近年取り組む学校が増えています)



避難施設の開設方法

避難所ルームの設置

現在、市で整備している避難所ルームのサンプルを組み立てます。



ファミリーテントの設置

防災備蓄倉庫にあるファミリーテントを設置します。



避難所ルームの設置



エアーマット用
手押しポンプ
➡ NEW!



発電機(バルーン)

まずはじめに

- 1** 周波数切替スイッチを使用する電気器具の周波数に合わせてください

50Hz 60Hz



- 2** ガソリンを、赤レベルまで入れてください

赤レベル



レギュラーガソリン
(自動車用レギュラーガソリン)
容量：4.2L

- 3** 背面カバーを開けてオイルを入れてください



※発電機本体を水平に置いた状態です。
エンジンオイル
容量：400mL
グレード：API分類SE級以上のエンジンオイル
(SAE10W-30または10W-40)
オイルが少ない場合は始動しません。
また、規定量以上に給油しないでください。

- 1** 燃料給油
キャップつまみ
OFF→ON



- 2** 燃料コック ON



- 3** チョーク

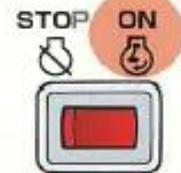


※エンジンが暖まっている時は必要ありません。

- 4** エコノミー
コントロール
スイッチ OFF



- 5** エンジンスイッチ ON



- 6** リコイルスター
ハンドルを勢いよく
引く



※リコイルスターハンドルを軽く引き出し、リコイルスターハンドルが重くなった状態から勢いよく引いてください。
▲発電機が倒れないように、手でハンドルを押さえてください。
※回転が安定したらチョークノブを元の位置に戻す。

- 8** 交流電源の取出し
コンセントに電気器具をつなぐ

※コンセントにつなぐ前、電気器具の電源は OFF になっていること。



- 9** 電気器具の
電源を
ONにする

- 7** エンジンスタート後、
チェック



停止は **9 8 5 2 1** の順番で逆の操作を行ってください。

連続運転
10.5^{※1}~
4.2時間

※1
エコノミーモード

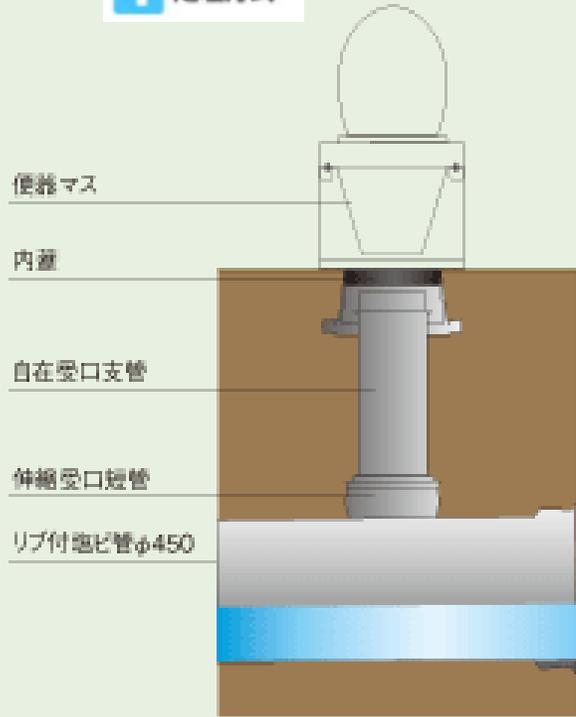
【よくあるQ&A】

- ①何時間使用可能？
→ガソリン満タン4Lで4~10時間
- ②ガソリンの保管量は？
→36リットル (1箱4本入×9箱)



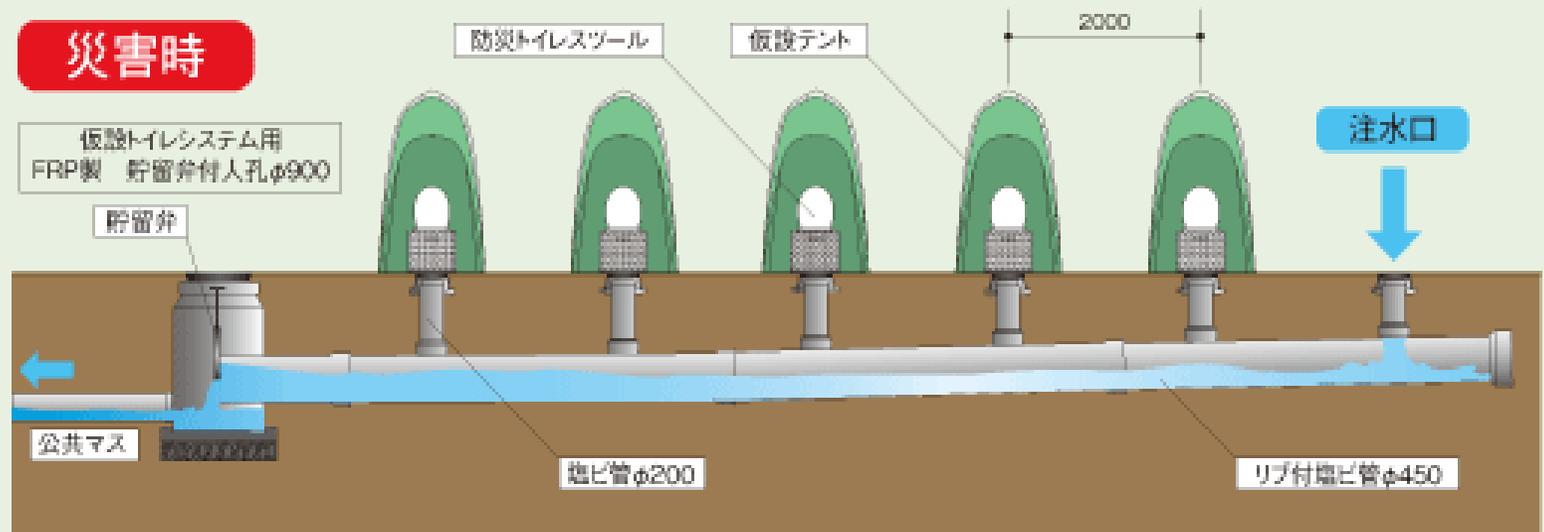
マンホールトイレ

1 処理方式



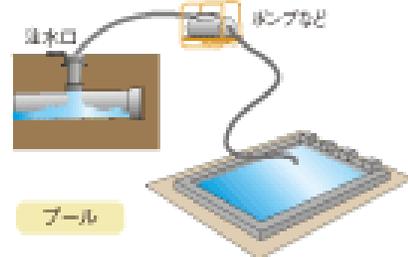
下水道接続タイプ設置イメージ

災害時

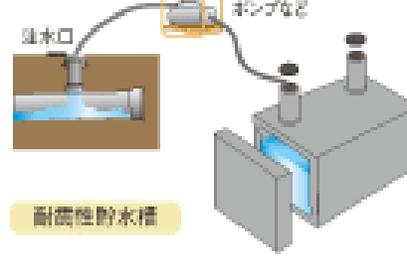


非常用水源の例

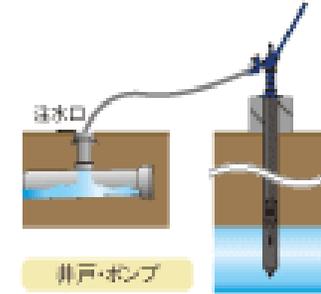
学校



公園



地下水



2 トイレ用鉄蓋 (ゴムチップ充填タイプ)



3 トイレ用鉄蓋開閉器具



【よくあるQ&A】

- ① 一日何回流す？
→ 一日1~2回程度 (1回1m³)
- ② トイレトペーパーは？
→ そのまま流してOK。
※ 生理用品やおむつはNG



応急給水栓



【よくあるQ&A】

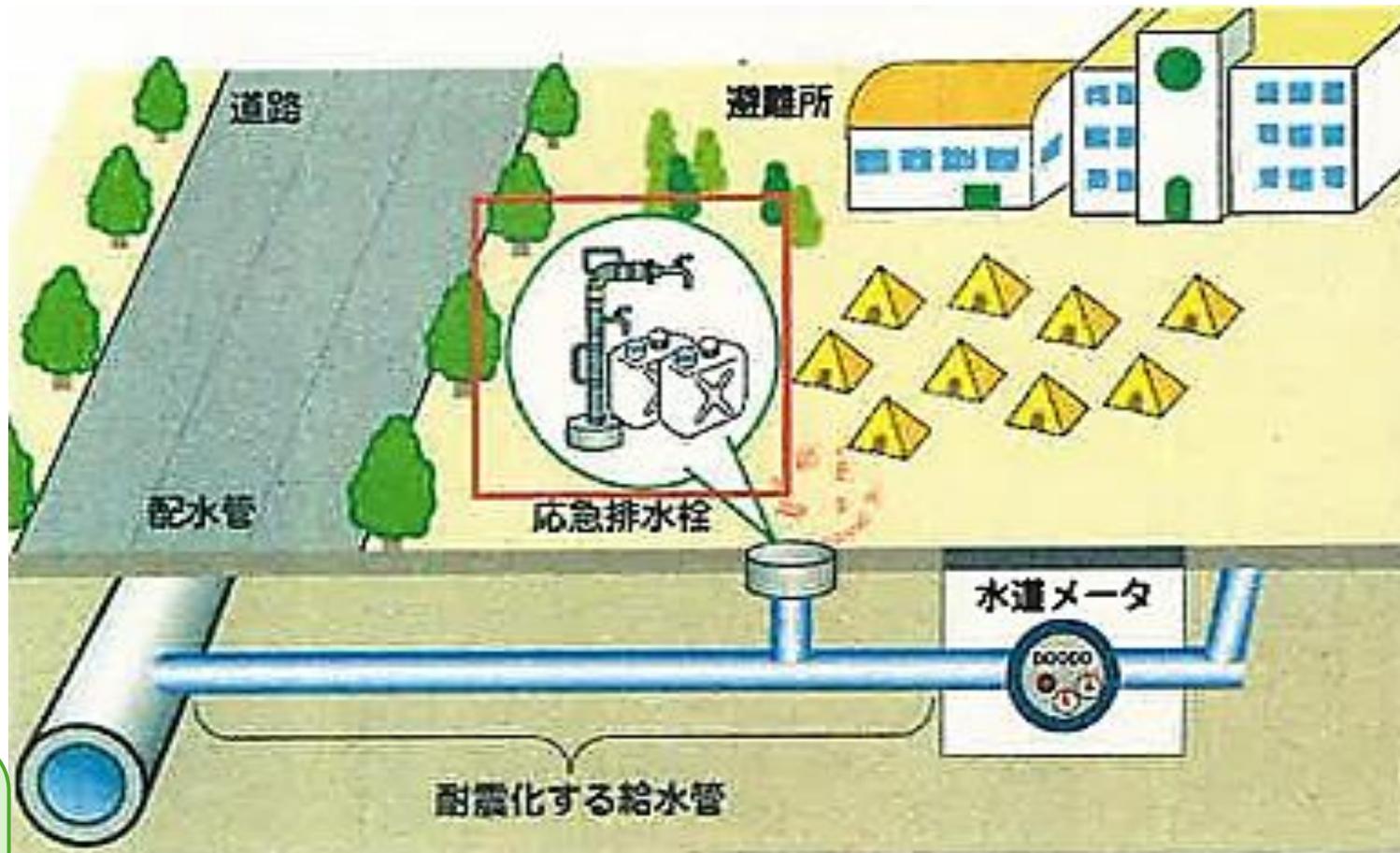
①使用上の注意事項は？

→水圧が強いので、仕切弁を開栓するときは慎重実施してください。

②水質検査（残留濃度）について

→0.1～0.4mg/Lが基準値です。

それ以外の場合には、飲料水に適さない。



応急給水栓の仕組み



災害用備蓄食

非常用保存食「アルファ米」炊き出しセット 作り方説明書



飲料水 500ml



災害用ビスケット

切る・折り返す

(開封用カッター付)

- この説明書に付いている「開封用カッター」でアルミ袋(外袋)の上部を開封し、箱の外側へ袋を折り返してください。



備品を取り出す

- 箱の中に入っている「①衛生手袋」「②スプーン」「③しゃもじ」「④輪ゴム」「⑤針金入りビニール紐」「⑥具材(赤飯は小豆)」「⑦弁当容器」を取り出してください。



具を入れる

- 作業前に「衛生手袋」を付け、内袋も外袋と同様に折り返し、中の「脱酸素剤」を取り除いてください。次に「具材」を入れて「しゃもじ」でかるくかき混ぜてください。



※「具材」の脱酸素剤も取り除いてください。

そそぐ・かき混ぜる

- 内袋の【注水線】まで、お湯又は水をそそぎ、具材が均一になるようによくかき混ぜてください。
※熱湯をご使用の場合「やけど」に注意してください。



※注水量 五目ごはん、わかめごはん、田舎ごはん=8リットル
赤飯、山菜おこわ=5.5リットル

閉じる・蒸らす

- 内袋の上部を「針金入りビニール紐」でしっかり結び、お湯で15分(赤飯の場合は20分)蒸らすと出来上がります。
※水の場合は15℃で60分、5℃で150分を出来上がりの目安としてください。



「針金入りビニール紐」

かき混ぜる

- 蒸らした後、味が均一になじむように、箱の底からほぐすようによくかき混ぜてください。



盛り付ける

- 写真のように盛り付ける人と、「輪ゴム」スプーンをセットする人、2人1組で行うと効率よく行えます。
※赤飯は「食塩」をつけます。



配食する

- 段ボール箱は、ふたを立て、写真のように2ヶ所を「針金入りビニール紐」で留めると、運搬用の箱としてお使いいただけます。
※弁当容器が50個納まります。



2014.6



【午後の部】

避難施設の取り組み(応用)



NEW

【防災教育とは】

「児童生徒等に対する防災教育の実施について」
(令和3年12月1日付け消防地第416号通知)



教育委員会や学校と連携しながら、児童生徒等が
将来の地域防災力の担い手となるよう、
消防団員、自主防災組織員等による講演や
体験学習、防災訓練等の防災教育を推進する。



【午後の部】

避難施設の取り組み(応用)



自主防災組織においては、地域の町内会自治会の加入率が低い現状があり、地域での防災活動を若年層へPRする機会が得られるとともに、次世代を担う子どもたちへ防災の必要性を理解してもらうきっかけにすることができる。

また、学校側においては、防災という専門的な分野について、有識者の知見を共有しながら実践的な授業を進めることができるため、児童生徒の理解度向上が期待できる。



消防団においては、団員数が減少している中で、消防団の存在意義について、改めて示す場となるとともに、団員自身がやりがいを感じる事ができる。

また、地域によっては、児童や生徒の家族や知り合いが消防団員として活動していることで、より身近な存在として感じることができる。

●市民協働推進課

- 02_いちのいち
- 03_町会・マンションみんなで防災訓練

●福祉総務課

- 04_個別避難計画
- 05_要配慮者把握マニュアル

●事務連絡（お知らせ）

- 06_保存用ビスコ（江崎グリコ）
- 07_防災セミナー（日本赤十字社）
- 08_区市町村災害対応力向上支援事業